



陽射しは日に日に強さを増し、気温も上がり、山に緑が芽吹く良い季節となりました。春の宗谷地方は、夏や秋に比べて降水量は少なく、太陽が一番多く顔を出す時期となります。

この頃になると、草木の開花など、様々なもので春の訪れを感じることができます。

稚内地方気象台では桜やタンポポが開花した日や、うぐいすの鳴き声を初めて聞いた日など、季節を感じる現象の観測も行っています。桜の開花については、全国のほとんどの官署で「そめいよしの」を標本木（開花や満開の基準とする木）に指定していますが道内では育ちが悪いため、札幌、室蘭、函館を除く官署では寒さに強い「えぞやまざくら」を指定しています。稚内の標本木は現在、稚内市末広 天北緑地内にあります。

釧路の開花日の平年値は稚内より3日遅い5月17日ですが、昨年のように全国の気象官署の中で稚内が最も遅い開花日になる年が最近増えているようです。

うぐいす初鳴	[4月29日]	初めて鳴いたのを聞いた日
タンポポ開花	[5月9日]	気象台の付近で2~3輪咲いた日
桜開花	[5月14日]	標本木で5~6輪以上咲いた日
桜満開	[5月17日]	標本木で80%以上の花が咲いた日

[]内は稚内の平年値(1981~2010年の30年間の平均値)

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/katsudansou/index.html>

問合せ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

地域おこし協力隊通信

vol.18

年度末ということで3月末に協力隊活動報告会が開催され、隊員3名がそれぞれ1年間の活動を報告させていただきました。参加された方どうもありがとうございました。参加できなかった方、そしてこの誌面をご覧になっている方、皆、協力隊に関心がある方々だと思います。これからも協力隊へのご要望・ご意見・アドバイスをぜひお寄せください。よろしくお願いいたします。

私は、主にトナカイ牧場で冬の後始末と春・夏に向けての準備に追われています。5月以降、トナカイの出産、青いけし、問寒別のテシコザクラ、サロベツ原野の動植物と風景、等々が待っています。これらは、どれも既存の幌延のオンリーワンのもの・こと（＝おらがまちで自慢できるもの・こと）です。外に出るにもよい気候になってきました。皆さんも幌延のオンリーワンを探してみませんか？そして皆さんのオンリーワンを教えてください。

地元の方から「何もない唯一無二のこの景色をこのまま残してほしい」という声をききました。その方のオンリーワンの1つは、

「ここにしかない景色」

地域おこし協力隊 丸田



撮影場所：パンケ沼園地

▼町ホームページ：協力隊コーナー「Base Town」／▼協力隊Facebook(URL：<https://www.facebook.com/horo.okoshitai/>)

春のヒグマ注意特別期間について

実施期間：平成29年4月1日(土)～5月31日(水)

ヒグマによる人身被害は春と秋に多く発生します。本年も山菜採りなどで山野に出かける機会が多くなる季節を迎えています。人身被害の3分の2は山菜・キノコ採りで発生しており、ヒグマに遭わないためには下記の点に注意してください。

- ・事前にヒグマの出没情報を確認する
- ・一人では野山に入らない
- ・野山では音を出しながら歩く
- ・薄暗いときには行動しない
- ・フンや足跡を見たら引き返す
- ・食べ物やゴミは必ず持ち帰る

問合せ先：産業振興課 農林グループ 電話：5-1113 告知端末機：5-8815